

「現地での支援活動報告（2月21日～5月30日）」

「2月21日(土)～2月22日(日) 珠洲市」

珠洲市で開催された「食祭 珠洲まるかじり&第13回あんこう祭り」イベントに参加しました。グリーンコープは、焼き鳥700本のほか、コーヒーやぜんざいを販売し、多くの来場者にご利用いただきました。売上は11万円を超え、会場は終日にわたり賑わいを見せました。なお、収益は全て能登半島地震災害支援カンパに充てられます。

<支援メンバー> GCふくおか：坂本理事長、米本常務、棚町専務代行 GCくまもと：小林理事長 現地スタッフ：井上さん



〈食祭 珠洲まるかじり&第13回あんこう祭り①〉

〈食祭 珠洲まるかじり&第13回あんこう祭り②〉

〈食祭 珠洲まるかじり&第13回あんこう祭り③〉

「4月4日(土)～4月5日(日) 能登町・珠洲市」

能登町「鵜川仮設団地」「ふじなみ第一仮設団地」、珠洲市「狼煙のみんなの家」「折戸第一仮設団地」で熊本名物いきなり団子作りを行いました。いきなり団子を初めて知る方がほとんどでしたが、蒸し上がった団子を食べると「おいしいね」と笑顔で声をかけてくださり、熊本の郷土の味を楽しんでいただくことができました。蒸し上がりを待つ間には、じゃんけん大会も開催し、子どもから大人まで大盛り上がりでした。

<支援メンバー> GCくまもと：松井さん、早川さん、濱口さん、狭間さん 現地スタッフ：井上さん



〈鵜川仮設団地〉



〈狼煙のみんなの家〉



〈折戸第一仮設団地〉

「4月10日(金)～4月11日(土) 珠洲市」

珠洲市の「狼煙のみんなの家」で花見が開催されました。狼煙のみんなの家は、地域で長年親しまれてきた2本の桜の木のそばに建てられており、縁側から満開の桜を眺めることができる設計となっています。グリーンコープは、春物衣料を中心としたファイバーリサイクル市を開催し、多くの地域住民に会場いただきました。桜を囲みながら会話を楽しむ姿が見られ、震災によって失われた地域のつながりを育み直す温かな交流の場となりました。

<支援メンバー> GCふくおか：田中顧問、棚町専務代行 現地スタッフ：井上さん



〈狼煙のみんなの家①〉



〈狼煙のみんなの家②〉



〈狼煙のみんなの家③〉

「4月19日(日)~30日(木) 能登町・輪島市」

能登町で開催された「復興フェスタin柳田2026」でファイバーリサイクル市を開催しました。当日はステージイベントや物販、体験企画などを通じて地域住民が交流し、震災や豪雨災害からの復興に向けた活気あふれる一日となりました。

輪島市教育委員会より、地震被害からの復旧に向けた輪島市立門前学園の校舎改修工事に伴い、一時的に給食の献立が簡易的になると相談を受け、グリーンコープのネグロスバナナや玉ねぎ天、そのままお弁当へからあげなどの商品を提供。6日間にわたり、1日150食分(約900食分)の商品を届け、子どもたちの給食を支援しました。

〈支援メンバー〉 現地スタッフ：井上さん



〈復興フェスタin柳田①〉



〈復興フェスタin柳田②〉



〈門前学園〉

「5月29日(金)~30日(土) 輪島市」

輪島市門前町の「とうげマルシェ」で試食会イベントを開催しました。グリーンコープのうなぎの蒲焼、ウインナー、かつおのたたき、プリン、ヨーグルト、びん牛乳などを用意し、地域のみなさんに味わっていただきました。参加者からは、「グリーンコープのプリンを避難所でもらったことがある。とてもおいしくてあの時は本当に助かりました」といった声も聞くことができ、支援のつながりを改めて感じる機会となりました。また、あわせて開催したファイバーリサイクル市や箸づくり体験もとても好評で多くの方に喜んでいただきました。

《とうげマルシェとは》

能登半島地震のあと「地域に買い物や食事、交流ができる場をつくりたい」という地元有志の思いから立ち上がり、2025年11月輪島市門前町にオープンした地域密着型のミニスーパー兼定食カフェです。

〈支援メンバー〉 GC共同体：浅島部長、西岡専務 現地スタッフ：井上さん



〈とうげマルシェ①〉



〈とうげマルシェ②〉



〈とうげマルシェ③〉

グリーンコープの災害支援活動は、組合員のみなさまからのカンパ金によって成り立っています。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

